

委員会からの提言（案）

評価対象施策 A

放課後の活動場所の充実について

学童クラブの待機児童の解消を目指し、施設整備により、学童クラブ数は平成 31 年度の 13 箇所から令和 5 年度は 18 箇所に増加している。また、定員の弾力化により定員数の拡大を図り、定員の増加にも努めている点は評価できる。

しかしながら、児童数の増加及び学童クラブ申請児童数は、平成 31 年の 76 人から令和 5 年度は 124 人に増加している。施設整備等が追い付かず、待機児童数は増加傾向にあり、特に低学年の学童クラブ需要への対応が課題と考える。引き続き、待機児童の解消を目指し、学童クラブの施設整備、定員増加について、取り組んでいただくとともに将来の少子化・人口減少を踏まえ、持続可能な運営体制を整えていただきたい。

また、放課後クラブの民営化によりサービスの拡充を図るとの方針であるが、学童クラブは、利用時間や受入れ人数の拡大のほか、遊びや行事等の充実が求められている。そのため、民営化を行う学童クラブにおいても安定的な運営や保育の質を確保し、児童や保護者が安心して利用できる学童クラブ運営に努めていただきたい。